

<p>最後のオオカミ マイケル・モーパーゴ /作 文研出版 978-4-580-82337-2 2017年</p>	<p>マイケルは自分の家系を調べるうちに先祖のロビーが遺した遺言書に であう。それは「最後のオオカミ」という回想録だった。戦争にまきこま れ、親を亡くしたロビーが一匹のオオカミと心を通わせ生きていく。</p>
<p>チョコレート戦争 大石 真/作 理論社 4-652-00502-4 1999年</p>	<p>洋菓子店のショーウィンドウを割った犯人にされた子どもたち。子ども たちは作戦を練り抗議の戦いを挑む。</p>
<p>チームふたり 吉野 万里子/作 学習研究社 978-4-05-202895-3 2007年</p>	<p>卓球部キャプテンの大地は小学校最後の試合で最強のダブルスを組 みたかったのに、5年の純と組むことになりがっかり。家に帰るとそれど ころでない問題が起こっていた。</p>
<p>チキン いとうみく/作 文研出版 978-4-580-82302-0 2016年</p>	<p>けんかやもめごとが苦手、あらゆるトラブルをさけてきた日色 拓。拓の 隣にいいたいことは何でも口にしてしまう真中 凜がひっこしてくる。凜 はヘタレな拓を「チキン」と呼ぶ。二人を軸にクラスの友だちも変わって いく。</p>
<p>二日月 いとう みく/作 そうえん社 978-4-88254-537-5 2015年</p>	<p>主人公杏(あん)に妹芽生(めい)が生まれる。芽生は障害をもってい た。杏は友だちに妹のことをかくしている。ある日母が学校の発表会に 芽生を連れて行くという。杏は恥ずかしいと思い、そう思う自分にショッ クをうける。</p>
<p>シャーロットのおくりも の E・B・ホワイト/作 あすなる書房 978-4-7515-1889-2 2001年</p>	<p>舞台はアメリカの田舎町。少女ファーンの家には11匹の子ブタがうまれ た。ファーンは処分寸前の子ブタを自分で育てるといって引き取る。大 きくなったブタのウィルパーは向かいの農場に売られる。ウィルパーは やがてハムやベーコンになる運命というのを知る。クモのシャーロットは 彼を救う作戦を練る。また、ファーンも彼を救おうと動き出す。</p>
<p>願いがかなうふしぎな 日記 本田 有明/作 PHP研究所 978-4-569-78253-9 2012年</p>	<p>なくなったおばあちゃんからもらった日記帳。その日記に願い事をかく と、次々に願いはかなっていく。実は光平がその願いをうそにしないた め努力しているのだ。</p>

<p>マヤの一生 棕 鳩十/作 理論社 978-4-652-20053-7 2014年</p>	<p>犬のマヤは人間の家族と仲良く暮らしていた。戦争が激しくなるにつれ くらしも厳しくなる。「犬を飼うのはぜいたく」と役人がマヤを差し出すよ うにいう。とうとう役人はマヤを連れ去り、マヤを痛めつける。</p>
<p>ぼくたちのリアル 戸森 しるこ 講談社 978-4-06-2200738</p>	
<p>海は生きている 富山 和子 講談社 978-4-06-215795-7</p>	